

## さくらサイエンスプログラム 募集枠組みの概要

	さくら招へいプログラム	さくらオンラインプログラム
目的	産学官の緊密な連携により、諸外国・地域の青少年を我が国に招へいし、我が国の青少年との科学技術分野の交流を行う事業です。これを通して、 ① 科学技術イノベーションに貢献しうる優秀な人材の養成・確保      ② 国際的頭脳循環の促進 ③ 日本と諸外国・地域の教育研究機関間の継続的連携・協力・交流      ④ 科学術外交にも資する日本と諸外国・地域との友好関係の強化 に貢献し、ひいては、日本および世界の科学技術・イノベーションの発展に寄与することを目的とするものです。	
対象国・地域	原則としてすべての国・地域	
分野・テーマ	科学技術（自然科学、人文科学および社会科学）分野	
主たる招へい者・参加者	高校生、高等専門学校生、大学生、大学院生、ポストドクター、教員、公的機関で科学技術に関連する業務に従事する者 ・ 40 歳以下 ・ 初来日（大学生以上の場合は大学入学以降に初来日）	
内容、日数	A.科学技術体験コース 原則 7 日以内 B.共同研究活動コース 21 日以内 C.科学技術研修コース 10 日以内 ※実招へい前後に交流の充実を図るためのオンライン交流の実施が可能 ※コロナにより中止となる場合は代替オンライン交流に変更可（右列のプログラムとは別の枠組み） ※コロナにより中止となる場合であっても 2024 年度への延期は原則不可	オンラインでなければ実施できない交流であり、直接対面交流と同等の効果が期待される交流計画。さらに、参加者による双方向の交流を一定期間（複数日）行う等、今後の交流基盤の形成につながりうる形態とする
人数	A コース：10 名以下、B コース：10 名以下、 C コース：10 名以下（送出し機関が 1 機関）、15 名以下（送出し機関が複数）	参加人数の要件は無し ※多人数によるオンライン交流であっても、一方的なオンライン講義や動画視聴等に留まることがないように留意が必要
主な支援費用	・ 渡航費（主に航空券代。受入れ機関が企業の場合は渡航費のみ支援） ・ 招へい者および協力者の日本国内の旅費（宿泊費、交通費） ・ 消耗品、資料作成費、オンライン交流ツールの使用料（利用月）※ ・ 外部有識者や TA の謝金 ・ 通訳費用（高校生、高専生のみ） 総額に上限はないが、日本国内の費用は 1 人・1 日あたり原則 2 万円以下 ※プログラム経費（その他）の総額は原則 A コース 2 万円、B、C コース 5 万円以下。追加費用申請により上限を超えて計上可。ただし、汎用性が高い映像・音声機器等は支援対象外	・ 協力者の旅費、外部有識者や TA の謝金 ・ 消耗品、資料作成費、オンライン交流ツールの使用料（利用月） ・ 高度な撮影技術を要する場合の外注費、人件費 ・ 通訳費用 1 件あたり 100 万円未満 ※汎用性が高い映像・音声機器等は支援対象外
費用以外の対応	・ 査証申請支援（申請書類の簡略化、費用免除）※、旅行保険の付保 ・ 日本科学未来館入館料（常設展）の免除 ・ 修了証の発行、さくらサイエンスクラブ（SSC）への加入 ※免除対象でない場合は、査証手数料について、1 人あたり 3,000 円を上限として支援金に計上可	・ 修了証の発行、さくらサイエンスクラブ（SSC）への加入
終了報告	受入れ・実施機関実施報告書（実施状況、費用、実施写真）、実施主担当者終了報告書、招へい・参加者修了報告書（アンケート）	
追跡調査	受入れ・実施機関への交流実施後来日状況調査（実施後 5 年間）、招へい者・参加者本人に対する実施後の来日状況調査（SSC 経由）	
選考	選考委員会	